

## 介助者・通訳に関する申請書

年 月 日

(あて先) 広島市長

申請者氏名 \_\_\_\_\_

記入者氏名 \_\_\_\_\_

(申請者との関係(続柄) \_\_\_\_\_)

私は、介助者又は通訳の同行が必要な状態にあり、次の者の渡日のための交通費、宿泊費等についても渡日旅費等の支給額に算定することを希望しますので、必要な書類を添えて申請します。

また、渡日した際にこの申請書の記載内容が事実と異なると認められた場合には、介助者又は通訳の渡日のための交通費、宿泊費等が渡日旅費等の支給額に算定されないことを了解します。

介助者氏名 : \_\_\_\_\_

通訳氏名 : \_\_\_\_\_

注) 記入者については、申請者と同じ場合は記載する必要はありません。

### 1 介助者を希望する場合

(1) 移動の際の介助の必要度について該当する口欄に✓印を付してください。

<input type="checkbox"/> 介助なしに普通に移動可能
<input type="checkbox"/> 杖、押し車、車椅子等の用具を使用すれば、介助なしに移動可能
<input type="checkbox"/> 全面的に介助を要する
<input type="checkbox"/> 一部介助を要する
【どの程度の介助を要するかについて具体的に記載してください。】
-----
-----
-----
-----
-----

(2)日常生活動作における介助の必要度について該当する□欄に✓印を付してください。

<input type="checkbox"/> 介助なしに生活動作を行うことが可能
<input type="checkbox"/> 時間はかかるが、基本的に介助なしに生活動作を行うことが可能
<input type="checkbox"/> 全面的に介助を要する
<input type="checkbox"/> 一部介助を要する
【どの程度の介助を要するかについて具体的に記載してください。】
-----
-----
-----
-----
-----

(3) その他、単独で渡日することが困難な状況について

【視力・聴力等の身体状況や精神の状況から見て申請者が単独で渡日することが困難な場合、その状況について具体的に記載してください。】
-----
-----
-----
-----
-----

2 通訳について該当する□欄に✓印を付してください。

<input type="checkbox"/> 必要である
<input type="checkbox"/> 不要である